

芳田の里ふれあい館だより

2024年

みんなで作る



5月号

心豊かな

芳田の里

第543号

西脇市立芳田の里ふれあい館

〒677-0065 西脇市岡崎町 172-28 ☎(0795)27-0658
メールアドレス houta-fureai@city.nishiwaki.lg.jp

***** 『ノノコのデンチ』 *****

今回は、丸山三郎先生のちょっと懐かしいお話をご紹介します。

(中略)

さて、今回は四月下旬のことです。

仲春ともなれば、長い冬ごもりから解放されて小さい虫たちよりも、人間さまが大喜び、心地よい風に吹かれながら、グランドゴルフに熱中するのです。

そんな日曜日の午後、ポールの旗が倒れるほどの強風で、一ぺんに冬が逆戻りしておりました。

「エライ風やないかいな。旗までコケてしもて、それよかおまはん、テンと入らへんやないかいな」

「セヤケド、コナイに寒い思わへなんだわ。これやったら、ノノコのデンチ着て来たらよかったのに、オーサブ」

「そんなこというてもな、冬モンみんなシモテシモトンガイな」

こんな会話をしながらもやり通すのは老人クラブならばこそ。ホールインワンをねらってがんばっているのです。

こんな会話は別に珍しいことではなく、気がねなくおしゃべりするときの平均的なことばづかいなのですが、もう、北播磨でも若い人たちには通じない時代となってしまいました。方言というより、「おじいちゃんことば、おばあちゃんことば」というべきでしょうか。

そこで、この会話の「テンと」は今でもよくつかわれている副詞で、「さっぱりとか皆目」の意味ですが、「よう釣れまっか」「いやー、テンとやな」といえば「さっぱり釣れない」ということで解説の必要もなく通じます。

しかし、「ノノコのデンチ」となると北播磨の人でも理解できない人もいます。デンチは電池ではなく、「チャンチャンコ」のこと、還暦に着るといふ赤いことから、奴さんの着ているようなものまで多種あるようです。「ノノコ」は実は共通語「ぬのこ」(布子)のなまりで、本来は木綿の綿入れ着のことですが、ずっと昔は麻の布地の袴(あわせ)や小袖のことをいっていたようです。

【西脇時報『時報だんわ室』平成15年5月26日より】

朝、通勤していると、芳田街道から見下ろせる広場、グラウンドゴルフの練習前、イスに座って上記の会話が聞こえてきそうです。まさに丸山先生が目にした二十数年前の光景と変わらず。

皆さんは今でも「ノノコのデンチ」を使われていますか？



第42回全国中学生人権作文コンテスト
【法務副大臣 賞】

【主催】法務省、全国人権擁護委員連合会

「我が家の人権問題」

広島県 廿日市市立大野東中学校の
生徒の作品

「LGBTQ」先日の広島サミットではようやくこの議題が取り上げられ、世の中では理解が進みつつあるようだ。そんな中、私の家では妹がその当事者になり、そのことについて考える機会が増えた。

妹は、もともと可愛いものより格好いいものが好きだった。プリキュアよりも戦隊ヒーローが好きで、スカートよりズボンを好んでいた。私は単にそれだけの事だと思っていたが、思春期を迎えると妹が女性であることを異常に嫌がりはじめた。私はそれが理解できなかった。私もスカートやフリフリした可愛い服は嫌いだ、女性であることは嫌ではない。そのため体のサイズに合わないメンズの服を着ようとする妹の心がわからなかった。女物でも格好いい服はあるのになぜダメなのか、なぜ同じような柄の服なのにレディースと知っただけで嫌がるのか、また、それが原因で毎日母と争う姿に私はイライラした。反発がエスカレートしていくとさらに私は困惑し、ますます腹立たしく思った。

妹が長かった髪をばっさり切りベリーショートにした時、やっと彼女がLGBTQに当てはまると理解した。それまでの私は妹の性自認が男だと気付いていなかった。なぜなら私たち姉妹は趣味が同じで、よく少年マンガを読んだり一緒にゲームをしたりする似た者同士だと思っていたからだ。そのため、私が嫌ではないことがなぜ嫌なんだ、という思いや、私と話している時は昔と何も変わらないのに、という思いになった。一方で今までの妹の行動はそれが原因だったのか、とその時ようやく納得した。

しかし、私は妹の性自認について理解してもまだ違和感を感じていた。妹は急に男友達と遊ばなくなったり、一人称を「私」

から「自分」にしたり、高い声を出さないようにしたり、次から次へと私達が驚く行動をした。今までの妹を知っているからこそこれらの行動にショックを受け、「元に戻ってほしい」と思うてしまうことがあった。

私は今まで、LGBTQに対する偏見はないと思っていた。しかし、いざ身内がそうになると否定的なことを言ったり、考えたりしてしまうことに気が付いた。例えばテレビに性的マイノリティの人が出ていても変だとは思わない。むしろ、そういった人を批判する人達を許せないと思える。ただそれが身内だと、「きっと気の迷いだろう」「元の妹に戻って」と思うてしまう。このようにして私も家族も妹を、知らず知らずのうちに傷付け、追いつめていたと思う。私は差別なんて有り得ないと思っていたのに、一番身近な家族にそんなことを思ってしまった。そしてそんな自分にとっても驚いた。そのままでいいよと受け入れるべきなのに。性的少数者が生きづらい理由のひとつは、こうして家族などからも否定されることがあるからだとして理解した。

私は妹の事で、LGBTQの問題を身近に感じる事ができた。おそらく世の中には、私のようにLGBTQのことを理解している『つもり』の人がたくさんいると思う。しかし、いざ自分の周りにそういった人が現れたら、否定的なことを言ったり、思ったりすると思う。それは仕方のないことかもしれない。ただ、それは私のようにその人を傷つけてしまうことになる。そんな理解した『つもり』をなくすために、まず自分自身や身近な人がそうだったら……と色々な想像をしてみたい。

世の中にはLGBTQに限らず、あらゆるマイノリティの人達が生きづらさを抱えて暮らしている。妹も家で、学校で一日中生きづらさを感じている。私は、SDGsでも謳われた『誰一人とり残さない』世の中になることを願い、自分自身そういった人達に起こる問題を理解し、私の正しいと思う行動をしていきたいと思う。そして皆が同じような気持ちで、少しずつでも世の中が変わって家が、学校が、会社が生きづらさを抱えた人にとって、優しい場所になってほしいと思う。

特設人権相談所の開設

「憲法週間」、「人権擁護委員の日」にちなんで特設人権相談所を開設します。名誉、信用、差別、いやがらせ、いじめなどで人権を侵されお悩みの方は、お気軽にお越しください。人権擁護委員が相談に応じます。

※相談は無料で、秘密は厳守されます。

と き 5月1日(水) 10:00~15:00

6月5日(水) 10:00~15:00

ところ 総合福祉センター(萩ヶ瀬会館)「相談室」

問合せ まちづくり課人権室

(市役所 ☎22-3111 内線 3023)



🍀🍀🍀🍀 図書をローテーションしました! 🍀🍀🍀🍀

今回は、大野隣保館の本を置いています。ぜひ、お気軽にご利用下さい。

■火車	■破船	■いいね	■いけない
■二人の嘘	■大丈夫だよ	■日の名残り	■デンタウン
■老いを育む	■ホモ・ゼウス(上・下)		
■風が強く吹いている	■ナヤミ雑貨店の奇蹟		
■92歳総務課長の教え	■だいじだいじどーこだ?		
■同志少女よ、敵を撃て	■70歳から老人の別れ道		
■わすれられないおくりもの	■男の子は強くなきゃだめ?		
■戦争は女の顔をしていない	■苦しかったときの話をしようか		
■全国水平社創立100周年記念誌	■自閉症の画家が世界に羽ばたくまで		
■部落の私たちがリモートで好き勝手にしゃべってみた			



【芳田駐在所だより】 ~横断歩道合図(アイズ)運動~

横断歩道合図(アイズ)運動プラス推進中!!

横断歩道合図(アイズ)運動に横断歩道手前減速運動をプラス!
特に信号機のない横断歩道において実践しよう!!

■横断歩道合図(アイズ)運動プラス

横断歩道合図(アイズ)運動に横断歩道手前減速運動をプラスし、横断歩道合図(アイズ)運動プラスとして県下全域で推進しています!

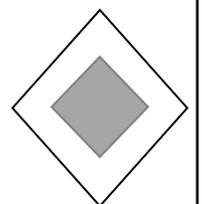
■横断歩道合図(アイズ)運動

- ・横断歩道を渡る場合、歩行者の方は手を挙げてドライバーに横断合図(手を挙げる動作とアイコンタクト)をしましょう!
- ・ドライバーの方は、確実に一時停止して歩行者に対して「渡ってください」の横断合図(手を挙げる動作とアイコンタクト)をしましょう!

●横断歩道手前減速運動

ダイヤモンド(この先に横断歩道または自転車横断帯があること)を見たらアクセルから足を離し、その先の横断歩道に歩行者等がいた場合に確実に停止できる準備をしましょう!

※歩行者がいないことが明らかでない場合も同様です。



5月の行事、講座予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日	7	8 生活相談 ヨガ	9 和紙ちぎり絵	10	11 和装
12	13	14 3B体操 料理	15 生活相談 絵手紙	16	17	18
19	20 すくすく広場	21 みんなで楽しく歌う教	22 生活相談 ヨガ	23	24	25 和装
26	27	28 3B体操	29 生活相談	30	31 	

《相談(人権・生活・教育など)》

芳田の里ふれあい館では、毎週水曜日に相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

《図書》

人権、一般小説、趣味の本・絵本などの閲覧・貸出を行っています。お気軽にご利用ください。

※  は、芳田の里ふれあい館の休館日

編集後記

■春は卒園式に卒業式、新年度に入ると入園式や入学式が粛々と執り行われました。とてもおめでたい日でもあるのに保護者の方々の目にはいつしか光るものが...この「涙」というものは、喜びや悲しみなど揺れ動く感情によって流すもので、動物の中では人間だけだといわれています。喜びも悲しみも一種のストレスであり、「社会生活を送るなかで人間は、涙を流すというストレスの解消法を身につけた」といわれています。でもそんな野暮な理屈じゃなしに、お子さんの成長を目の当たりにしたとき、これまでの関わりの深さに対するプレゼント、深ければ深いほどその贈り物が多くいただけると思うとステキですね。■今月からこの館だよりに「UDフォント」を使っています。「UDフォント」は、「ユニバーサルデザイン」のコンセプトに基づいた誰にとっても見やすく読みやすいフォントです。読みやすさに加えて、遠くからでもわかりやすく読み間違いがないように、可読性や視認性、判読性が高くなるようにデザインされているのが特徴です。時間があるときに4月号との違いを見比べてみてはいかがでしょうか。



「是非」

絶対に、定まっている必ず、定期...など



両手の4本の指をそろえて、少し曲げて上下に組み合わせる

表現してみよう!

「是非、西脇市に遊びに来てね!」
「絶対に、行くね!」



「身につける」「などと表わす方が、覚えやすい」と表わした方が、おぼしくくと、思いまふ